

殺細胞性抗がん剤

副作用チェックポイント

～施設間情報連絡書（副作用チェックシート）を用いた副作用評価～

近畿中央病院 薬剤部
日本医療薬学会 がん専門薬剤師
橋本 早苗

化学療法による副作用

(免疫チェックポイント阻害薬、分子標的薬は除く)

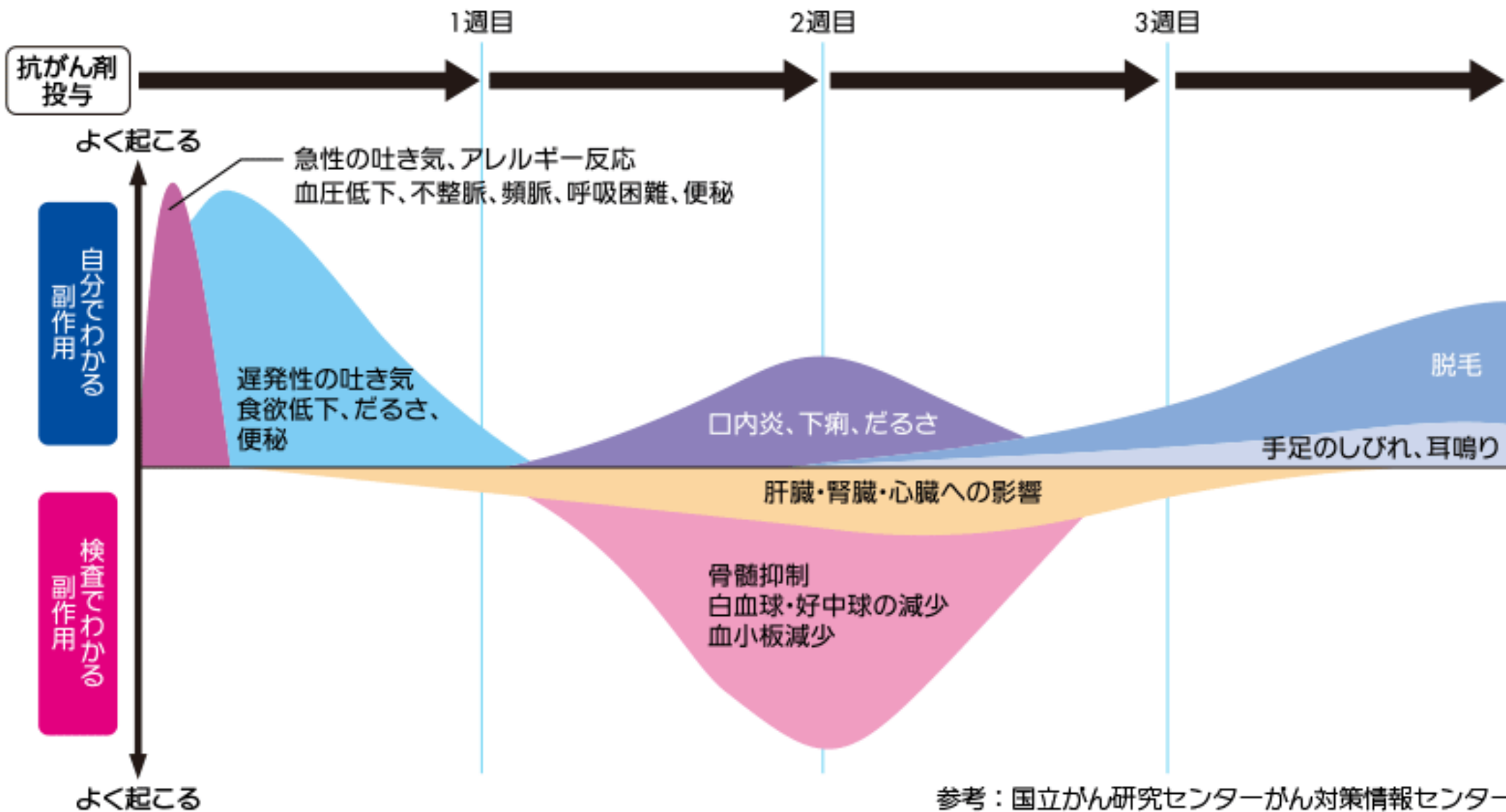
血液学的毒性

- 白血球減少
- 赤血球減少 (貧血)
- 血小板減少

非血液学的毒性

- 消化器症状 一口内炎、嘔気・嘔吐、下痢
- 腎障害、膀胱障害
- 心毒性
- 脱毛
- 神経毒性
- 間質性肺炎・肺線維症
- 過敏反応
- 皮膚障害 一手足症候群、色素沈着、発疹、爪囲炎
- その他

代表的な副作用の発現しやすい時期



有害事象共通用語規準 v5.0日本語訳JCOG版 (**CTCAE** : Common Terminology Criteria for Adverse Events v5.0 - JCOG)

世界共通で使用されることを意図して作成された有害事象に関する評価規準
有害事象 (A E) の重症度を **Grade 1 (軽症) ~ 5 (死亡)** と定義し、
各有害事象の重症度の説明を個別に記載。

(※すべてのAEがすべてのGradeを含むわけではなく、一部のAEではGradeの選択肢が5種類未満
となっています。 例：脱毛Grade2まで)

Grade	重症度、症状
Grade 1	軽症／症状がない, または軽度の症状がある／臨床所見または検査所見のみ／治療を要さない
Grade 2	中等症／最小限、局所的、非侵襲的治療を要する／年齢相応の身の回り以外の 日常生活動作 の制限
Grade 3	重症または医学的に重大であるが, ただちに生命を脅かすものではない／入院または入院期間の延長
Grade 4	生命を脅かす／緊急処置を要する
Grade 5	有害事象による死亡

※ (／) は“または”という意味でとらえてください

【日常生活動作】

日常生活動作に支障がある方が副作用としては重篤

身の回りの日常生活動作：入浴、食事の摂取、トイレの使用、歩行など

身の回り**以外**の日常生活動作：食事の準備、買い物、電話の使用、金銭の管理、文字を書くなど

副作用評価シートを作成しました！！

CTCAEの副作用評価基準に沿って作成（Grade 1～3で評価）

- 殺細胞性抗がん剤用
- 分子標的薬用
- 免疫チェックポイント阻害剤用

施設間情報提供書（殺細胞抗がん剤）

様様の薬学的管理事項について連絡申し上げます。

作成日

確認日

緊急連絡先：072-781-3712（代表）

薬剤部化学療法担当まで

FAX:072-781-3767

コンプライアンス：良好 ・ 不良

緊急を要する項目（塗りつぶしてある項目に該当する場合は電話連絡）

発熱（腋窩37.5度以上）	なし	あり	
飲食の摂取	飲食可	飲水のみ可	飲食できない
下痢（日常の排便回数に加えて）	1-3回/日	4-6回/日	7回/日以上
間質性肺炎（化学療法前と比較）	痰のからまない咳、軽動作で息切れ、呼吸苦が持続		

チェック項目	Grade1	Grade2	Grade3
倦怠感、疲労	だるい、元気がない 休息により軽快	休息によって軽快しない 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	休息によって軽快しない 身の回りの日常生活動作に制限がある
食欲不振	食事習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない食欲低下 経口栄養剤による補充	顕著な体重減少や栄養失調を伴う 経管栄養による補充
悪心	食事習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少、脱水、栄養失調を伴わない摂取量の低下	経口摂取が不十分 入院を要する

コンプライアンス: 良好 ・ 不良

緊急を要する項目(塗りつぶしてある項目に該当)

発熱(腋窩37.5度以上)	なし
飲食の摂取	飲食可
下痢(日常の排便回数に加えて)	1-3回/日
間質性肺炎(化学療法前と比較)	

チェック項目	Grade 1
倦怠感、疲労	だるい、元気がない 休息により軽快
食欲不振	食事習慣の変化を伴
悪心	食事習慣の変化を伴
嘔吐	24時間以内に1-2回 あいたものを1回)
便秘	不定期または間欠的 下剤を不定期に使用
口内炎	症状がないまたは軽 治療を要さない
吃逆	軽度の症状/生活に
皮膚障害 ○部位(顔・頭・体幹) ○症状(紅斑・疼痛・乾燥・隆起・ その他)	体表面積<10%
手足症候群 ○部位(手・足) ○症状(紅斑・水疱・角質増殖・ 亀裂・その他)	疼痛を伴わない軽制 (紅斑、浮腫、角質増殖)
神経障害 ○感覚がない/にぶい ○手足が動かしにくい	症状がない

※Grade2以上であれば次回受診時に対応を検

緊急を要する項目

発熱
(腋窩37.5度以上)
飲食の摂取
下痢
間質性肺炎

その他のチェック項目

倦怠感・疲労
食欲不振
悪心
嘔吐
便秘
口内炎
吃逆
皮膚障害
手足症候群
神経障害

！ 緊急を要する項目 ！

緊急を要する項目 (塗りつぶしてある項目に該当する場合は電話連絡)

発熱(腋窩37.5度以上)	なし	あり	
飲食の摂取	飲食可	飲水のみ可	飲食できない
下痢(日常の排便回数に加えて)	1-3回/日	4-6回/日	7回/日以上
間質性肺炎(化学療法前と比較)		痰のからまない咳、軽動作で息切れ、呼吸苦が持続	

発熱 ～骨髄抑制（発熱性好中球減少症：FN）～

【発熱性好中球減少症の定義】

- ①好中球数が $500/\mu\text{L}$ 未満、または $1000/\mu\text{L}$ 未満で48時間以内に $500/\mu\text{L}$ 未満に減少すると予測される状態

かつ

- ②腋窩温 37.5°C 以上（口腔内温 38°C 以上）の発熱を生じた場合。

【好発時期】

投与1～2週間前後

腋窩 **37.5°C 以上**の発熱を生じた場合は、病院まで相談を



間質性肺炎

間質（肺胞壁）の炎症・線維化により、酸素が取り込みにくく呼吸困難となる。

【好発時期】

がん種や薬剤によって幅がある

- ・細胞障害機序（直接的な障害）
： **数週～数年**と発生時期に幅がある。投与量や投与期間に相関する。
- ・免疫反応機序（間接的な障害）
： **数週間以内**に発生する。 **投与量との相関はない**ため、初回発現も。



早期に治療を開始する必要があるため、
初期症状：軽動作での息切れ、乾性咳嗽（痰のからまない空咳）、発熱
が認められた場合は、病院まで相談を

その他のチェック項目

食欲不振、悪心、嘔吐

シスプラチン、カルボプラチン

E C療法（エピルビシン＋シクロホスファミド）

F E C療法（5 - F U＋エピルビシン＋シクロホスファミド）等



【好発時期】 悪心・嘔吐は3パターン

急性悪心・嘔吐

一般的に抗がん剤の投与1～2時間後から24時間以内

遅発性悪心・嘔吐

抗がん剤の投与24時間後以降に発現し、数日間（2～5日間程度）持続

予測性悪心・嘔吐

投与前。精神的な要因によってもたらされる。

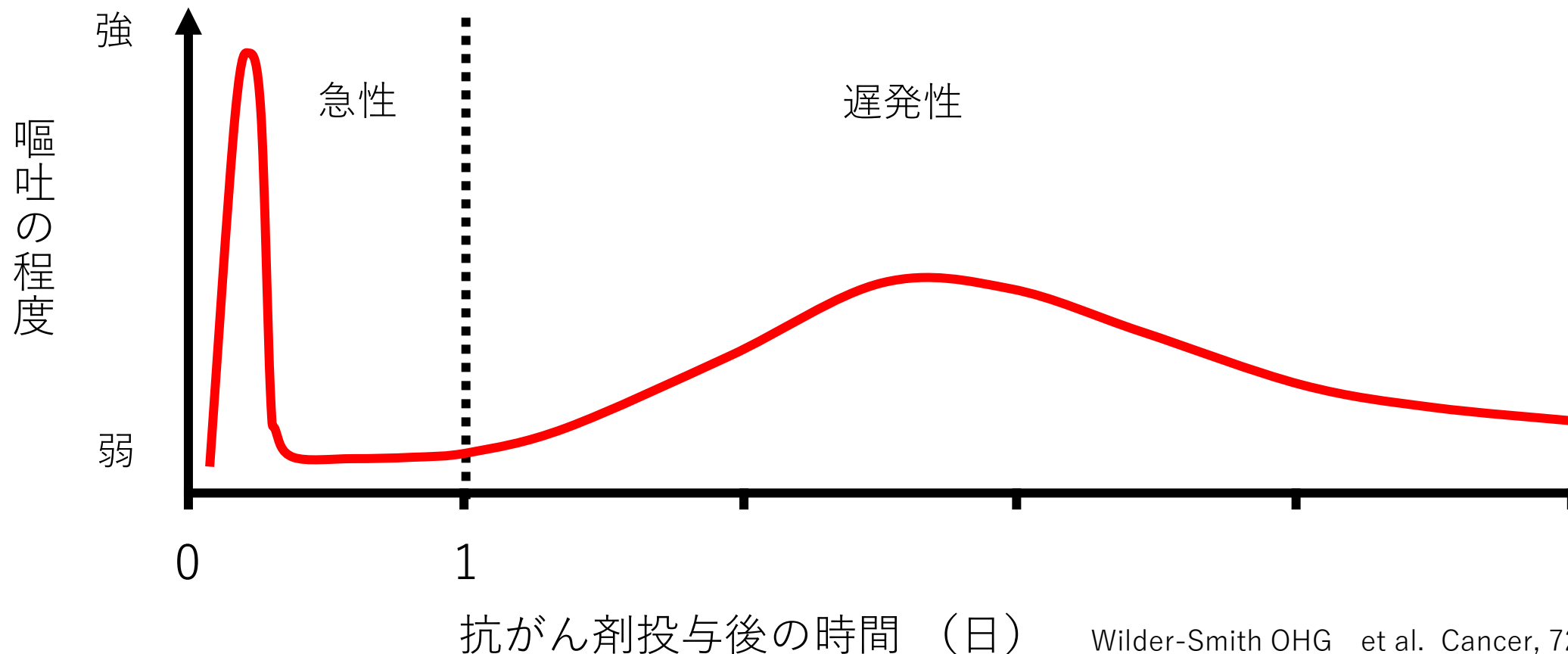
嘔吐パターンと神経伝達物質の関与

セロトニン

初期の嘔気はセロトニンが関与→5-HT3拮抗薬が有効

サブスタンスP

遅発期の嘔気はサブスタンスPが関与→NK1受容体拮抗薬が有効



国内制吐薬適正使用ガイドライン（高度催吐性リスク：HEC）

	1	2	3	4	5 (日)	
	(抗がん薬投与前)					
遅発性の嘔気予防 (イメンド®等)	アプレピタント (mg)	125	80	80		
	もしくは ホスアプレピタント (mg)	150				
早発性の嘔気予防 (グラニセトロン®、 アロキシ®等)	5-HT ₃ 受容体拮抗薬					
	デキサメタゾン (mg) AC使用時2日目以降 省略可(注1)	9.9	8	8	8	8
	急性	遅発性				

注) アプレピタントを使用しない場合は、1日目のデキサメタゾン注射薬は13.2~16.5mgとする(→「制吐薬一覧」の注を参照)。
 高度催吐性リスクのなかで、アントラサイクリン系抗がん薬とシクロホスファミドを含むレジメンは根拠となる臨床試験が他の高度リスク抗がん薬とは異なる。AC療法のエビデンスから、2日目以降のデキサメタゾンの上乗せ効果は証明されていない(注1)。また、ホスアプレピタントの有効性や安全性も、アントラサイクリン系抗がん薬とシクロホスファミドを含むレジメンを用いる乳がん症例ではデータが少ないため、合併症に注意して慎重に投与する必要がある。

確認事項

いつから？
 食事の量の変化は？
 体重は減っている？
 (嘔吐がある場合) 回数は？



食欲不振	食事習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない食欲低下 経口栄養剤による補充	顕著な体重減少や栄養失調を伴う 経管栄養による補充
悪心	食事習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少、脱水、栄養失調を伴わない摂取量の低下	経口摂取が不十分 入院を要する
嘔吐	24時間以内に1-2回(5分以上間隔があいたものを1回)	24時間以内に3-5回(5分以上間隔があいたものを1回)	24時間以内に6回以上(5分以上間隔があいたものを1回)

食事の回数や量にあまり変化がなければGrade 1

食事量の減少がみられればGrade 2

食事量が大きく減少し、著明な体重減少があればGrade 3

！緊急を要する項目！に該当あり

緊急を要する項目（塗りつぶしてある項目に該当する場合は電話連絡）

発熱（腋窩37.5度以上）	なし	あり	
飲食の摂取	飲食可	飲水のみ可	飲食できない
下痢（日常の排便回数に加えて）	1-3回/日	4-6回/日	7回/日以上
間質性肺炎（化学療法前と比較）	痰のからまない咳、軽動作で息切れ、呼吸苦が持続		

飲水にも支障があるようであれば病院まで相談を

その他のチェック項目

便秘



【原因】

- 食事や水分が十分にとれない、運動量が減る、気分が落ち込む
- 化学療法や医療用麻薬の副作用
- がんによる大腸の圧迫や閉塞など

抗がん剤や、
制吐剤の5-HT3拮抗薬
(グラニセトロン等)

【ブリストル便形状スケール】



確認事項

まずは、①もともとの便の回数・性状 ②下剤服用状況 の把握を！！

排便回数の変化は？

下剤は服用している？

便の形状は？（ブリストルスケールより評価）

随伴症状（腹痛・腹満感・嘔気）は？



便秘	不定期または間欠的な症状 下剤を不定期に使用	下剤の定期的使用を要する 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	排便を要する便秘 身の回りの日常生活動作に制限がある
----	---------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

下剤の定期服用が必要となれば
Grade2

その他のチェック項目

下痢

イリノテカン、5-FU等



【好発時期】 下痢は2パターン

早発性下痢：投与中～24時間以内 原因薬物（**イリノテカン**）

コリン作動性による腸管蠕動亢進が要因
抗コリン薬（ブチルスコポラミン臭化物等）が有効

遅発性下痢：投与24時間以降

抗がん剤やその代謝物による消化管粘膜の直接障害が原因
ロペラミド、吸着薬、整腸剤などを使用

イリノテカンは、腸内を酸性化させる乳酸菌製剤との併用で下痢が増悪するとの報告があるため推奨されない
→下痢の際、**市販の整腸剤**を自己判断で服用しないように！！

確認事項

まずは、①もともとの便の回数・性状 ②下剤服用状況 の把握を！！

※大腸がんの手術歴や人工肛門を増設している患者はもともと水様便であることが多いため、ベースの排便状況の把握は大事！！

いつから？

便の回数がどのくらい**増加**しているか

便の性状は？（ブリストルスケールより評価）



！緊急を要する項目！に該当あり

緊急を要する項目(塗りつぶしてある項目に該当する場合は電話連絡)

発熱(腋窩37.5度以上)	なし	あり	
飲食の摂取	飲食可	飲水のみ可	飲食できない
<u>下痢(日常の排便回数に加えて)</u>	1-3回/日	4-6回/日	7回/日以上
間質性肺炎(化学療法前と比較)		痰のからまない咳、軽動作で息切れ、呼吸苦が持続	

普段の排便回数に加えて**4回以上**の排便回数が見られれば
病院へ連絡を！！

※今回の連携充実加算の対象薬ではありませんが、エスワン服用開始後すぐ(1週間以内)の高度な下痢・口内炎の同時発現には注意を。服用をすぐに中止し病院へ連絡してください。

その他のチェック項目

口内炎



【原因】

口腔粘膜への刺激
免疫力低下に伴う口腔内環境の悪化

【予防・対策】

- ・ 口腔ケア
 - ① 歯磨き、歯間清掃：毛の柔らかい歯ブラシで
 - ② うがい：アズノールうがい液、生理食塩水※、水でも可
- ・ 刺激物（辛味、酸味）や、熱いものは控える
- ・ デキサルチン軟膏等の外用剤の使用や、鎮痛剤の服用



※口内炎ではなく、口腔カンジダの場合もあるため改善を認めない場合は
口腔外科の受診が必要

※生理食塩水：500mlの水に小さじ1杯程度の食塩

確認事項

痛みの程度は？
(食事に支障があるかどうか)



口内炎

症状がないまたは軽度の症状
治療を要さない

経口摂取に支障がない中等度の疼痛
食事の変更を要する

高度の疼痛
経口摂取に支障がある

食事の際に痛みを感じる
ようであればGrade 2

食事摂取に支障が
あればGrade 3

※今回の連携充実加算の対象薬ではありませんが、エスワン服用開始後すぐ（1週間以内）の高度な下痢・口内炎の同時発現には注意を。服用をすぐに中止し病院へ連絡してください。

その他のチェック項目

末梢神経障害

オキサリプラチン

パクリタキセル、ドセタキセル、ナベルビン、ハラヴェン等



【好発時期】 薬剤ごとに発現状況が異なります

オキサリプラチン：早発性（投与2日以内に発現し、2週間ほどで改善）
遅発性（繰り返しの投与による蓄積により発現）

オキサリプラチンの**早発期**の
しびれは寒冷刺激にて増強。
冷たい飲み物や冷水での家事
は避けましょう。



パクリタキセル、ドセタキセル、ナベルビン、ハラヴェン等：遅発性（蓄積性）

遅発性の末梢神経障害は、**月もしくは年単位**でしか改善しない事が多い

確認事項

日常生活にどのくらい支障があるかがポイントです

いつから？

発症部位は？

痛みの有無は？

日常生活動作に支障はある？

【日常生活動作】

身の回りの日常生活動作：入浴、食事の摂取、トイレの使用、歩行など

身の回り**以外**の日常生活動作：食事の準備、買い物、電話の使用、金銭の管理、文字を書くなど



神経障害
○感覚がない/にぶい
○手足が動かしにくい

(日常生活に支障が出るほどの)
症状がない

中等度の症状
身の回り以外の日常生活動作の制限
がある

高度の症状
身の回りの日常生活動作の制限が
ある

痛みが出現し、身の回り（以外）の日常生活に制限ができればGrade2

身の回りの日常生活に制限が出る程の症状はGrade3。病院まで連絡を。

その他のチェック項目

手足症候群

5 - F U等

手足症候群 フッ化ピリミジン系(5-FU等)



- 皮膚症状が現れる前に、チクチク感、ヒリヒリ感などの違和感が初期症状として認められることが多い。
- 初期症状としては、**紅斑**が認められ、次第に**皮膚表面光沢**、**指紋消失傾向**、色素沈着がみられるようになり、**疼痛**を訴えるようになる。
キナーゼ阻害剤等の手足症候群と初期症状が異なることが多い。
- 症状が進行すると、**著明な紅斑**、**過角化**、**亀裂**、**落屑**、**強い疼痛**、**水疱形成**などが認められ、**日常生活に制限が生じる**

確認事項

日常生活にどのくらい支障があるかがポイントです

発症部位は？

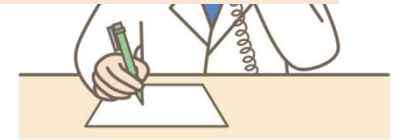
痛みは？

日常生活動作に支障はある？

【日常生活動作】

身の回りの日常生活動作：入浴、食事の摂取、トイレの使用、歩行など

身の回り**以外**の日常生活動作：食事の準備、買い物、電話の使用、金銭の管理、文字を書くなど



皮膚障害 ○部位(顔・頭・体幹) ○症状(紅斑・疼痛・乾燥・隆起・その他)	体表面積<10%	体表面積の10-30%	体表面積>30% 粘膜疹
手足症候群 ○部位(手・足) ○症状(紅斑・水疱・角質増殖・亀裂・その他)	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化 (紅斑、浮腫、角質増殖症)	疼痛を伴う皮膚の変化 (亀裂、水疱など) 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	疼痛を伴う高度な皮膚の変化 (亀裂、水疱など) 身の回りの日常生活動作に制限がある

痛みが出ればGrade 2

日常生活に制限が出る程の痛みや皮膚症状があればGrade 3

症例 70代男性 大腸がん レジメン：SOX（エスワン、オキサリプラチン）

2コース目 day1

保険薬局 御中

がん薬物療法情報提供書

平素よりお世話になりありがとうございます。
薬物療法について下記のとおりお知らせ致します。
今後の薬剤管理指導(服薬コンプライアンス、相互作用、支持療法剤等)を
宜しくお願い申し上げます。

記

副作用：

(倦怠感) G 、 (食欲不振) G 、 (悪心) G 1、 (嘔吐) G
(下痢) G 、 (便秘) G 1、 (味覚変化) G 、 (吃逆) G
(口内炎) G 、 (流涙) G 、 (色素沈着) G 、 (痒み) G
(筋肉痛) G 、 (関節痛) G 、 (浮腫) G
(爪の変化) G →部位
(手足の皮膚症状) G →部位
(頭・顔・全身の皮膚症状) G →部位

備考：

以上

公立学校共済組合近畿中央病院 薬剤部 担当薬剤師
連絡先 TEL 072-781-3712(代) FAX 072-781-5569 (薬剤部)

化学療法実施内容
0123456789

テスト太郎 様

診療科 :呼吸器内科
医師 :近中太郎

実施日 :2020/〇/〇

BSA :

レジメン名 : L-OHP + S1

2 コース目 (day 1)

体表面積 :1.50㎡

Rp1	生理食塩液TN100mL		
	グラニセトロン静注液 1 mg	1	A
	デキサート注射液6.6mg	1	V
Rp2	テルモ生食500mL	1	本
	オキサリプラチン点滴静注	100	mg
Rp3	生理食塩液 TN100mL	1	本

公立学校共済組合 近畿中央病院
TEL : 072-781-3712

1コース目の後、
Garde1の便秘と
悪心が発現して
いることが分か
る。

2コース目 day3 レジメン：SOX（エスワン、オキサリプラチン）

G 1の便秘と悪心と書いてあるな。

もともとの排便状況と、今の状況を確認してみよう。

3日目は悪心も出やすい時期だから、1コース目と比較して症状が酷くなっていれば次の受診の時に吐き気止めが必要かな。

オキサリプラチンの副作用は確か**しびれ**だったなあ。骨髄抑制の**熱**にも注意しなきゃ。

（薬剤特有の副作用を意識しつつ、副作用シートにそって問診を）

—便秘—

便の形状は？（ブリストルスケールより評価）

排便回数の変化は？

下剤は服用している？

随伴症状（腹痛・腹満感・嘔気）は？

—悪心—

いつから？

食事の量の変化は？

体重は減っている？

（嘔吐がある場合）回数は？



便秘でたまにマグネシウムの薬を飲むくらい。
もともとは毎日出てたんだけどね。
ちょっとムカムカするときもあるけど、**食事は摂れてるよ。しびれは今のところ感じないね。**

情報提供書と変わりなく、症状も悪化してなさそうだ。チェックシートを記載して病院へFAXしよう。



3 コース目 day1

レジメン：SOX（エスワン、オキサリプラチン

保険薬局 御中

がん薬物療法情報提供書

平素よりお世話になりありがとうございます。
薬物療法について下記のとおりお知らせ致します。
今後の薬剤管理指導(服薬コンプライアンス、相互作用、支持療法剤等)を宜しく
お願い申し上げます。

記

副作用：

(倦怠感) G 、 (食欲不振) G 、 (悪心) G1 、 (嘔吐) G
(下痢) G 、 (便秘) G1 、 (味覚変化) G 、 (吃逆) G
(口内炎) G 、 (流涙) G 、 (色素沈着) G 、 (痒み) G
(筋肉痛) G 、 (関節痛) G 、 (浮腫) G
(爪の変化) G →部位
(手足の皮膚症状) G →部位
(頭・顔・全身の皮膚症状) G →部位

備考：

以上

公立学校共済組合近畿中央病院 薬剤部 担当薬剤師
連絡先 TEL 072-781-3712(代) FAX 072-781-5569 (薬剤部)

化学療法実施内容
0123456789

テスト太郎 様

診療科 :呼吸器内科
医師 :近中太郎

実施日 :2020/〇/〇 BSA :

レジメン名 : L-OHP + S1
3 コース目 (day 1)

体表面積 :1.50㎡

Rp1	生理食塩液TN100mL		
	グラニセトロン静注液 1 mg	1	A
	デキサート注射液6.6mg	1	V
Rp2	テルモ生食500mL	1	本
	オキサリプラチン点滴静注	100	mg
Rp3	生理食塩液	1	本
	TN100mL		

公立学校共済組合 近畿中央病院
TEL： 072-781-3712

2コース終了時点では、前回と同様Garde1の便秘、悪心が発現している。

3コース目 day3

レジメン：SOX（エスワン、オキサリプラチン）



手のしびれが気になってきたね。ちょっとピリピリ痛むけど字を書くのに支障があるほどではないかな。それより、吐き気が前よりしんどいね。頑張ってるけど、ムカムカして**食事の量が減ってる**。便秘は今までどおりで変わってない。

—末梢神経障害—
いつから？
発症部位は？
痛みの有無は？
日常生活動作に支障はある？

—悪心—
いつから？
食事の量の変化は？
体重は減っている？
(嘔吐がある場合) 回数？

次回の診察の時に吐き気止めのお薬を考えていただくように伝えておきますね。**食事が全然摂れなくなるようでしたら病院までご連絡ください**。寒くなってきたんで、冷たいものは避けるようにしてくださいね。

Grade1のしびれが出ているな。
食事の量が減ってるし、**悪心がGrade2に悪化**している。
チェックシートに記載してFAXしておこう。



ぜひ、施設間情報提供書（副作用チェックシート） を利用してみてください！

チェック項目の内容プラス、
抗がん剤ごとの起こりやすい副作用が分かれば、
より問診しやすくなると思います。

副作用のGrade判断が難しい時もあります
（特に電話だと伝わり辛い場合も）

グレーの網掛け部分に該当していないかがまずは重要！！

施設間情報提供書（殺細胞抗がん剤）		作成日	
様の薬学的管理事項について連絡申し上げます。		確認日	
生年月日:		緊急連絡先: 072-781-3712 (代表)	
コンプライアンス: 良好 ・ 不良		薬剤部化学療法担当まで FAX: 072-781-3787	
緊急を要する項目（塗りつぶしてある項目に該当する場合は電話連絡）			
発熱（腋窩37.5度以上）	なし	あり	
飲食の摂取	飲食可	飲水のみ可	飲食できない
下痢（日常の排便回数に加えて）	1-3回/日	4-8回/日	7回/日以上
間質性肺炎（化学療法前と比較）	痰のからまない咳、軽動作で息切れ、呼吸音が持続		
チェック項目	Grade1	Grade2	Grade3
倦怠感、疲労	だるい、元気がない 休息により軽快	休息によって軽快しない 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	休息によって軽快しない 身の回りの日常生活動作に制限がある
食欲不振	食事習慣の変化を伴わない食欲不振 経口栄養剤による補充	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない食欲不振 経口栄養剤による補充	顕著な体重減少や栄養失調を伴う 経口栄養剤による補充
悪心	食事習慣の変化を伴わない食欲不振	顕著な体重減少、脱水、栄養失調を伴わない摂取量の低下	経口摂取が不十分 入院を要する
嘔吐	24時間以内に1-2回（5分以上間隔があったものを1回）	24時間以内に3-5回（5分以上間隔があったものを1回）	24時間以内に8回以上（5分以上間隔があったものを1回）
便秘	不定期または間欠的な症状 下剤を不定期に使用	下剤の定期的使用を要する 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	排便を要する便秘 身の回りの日常生活動作に制限がある
口内炎	症状がないまたは軽度の症状 治療を要さない	経口摂取に支障がない中等度の疼痛 食事の変更を要する	高度の疼痛 経口摂取に支障がある
吃逆	軽度の症状/生活に支障なし	日常生活に支障がある	
皮膚障害 ○部位（顔・頭・体幹） ○症状（紅斑・疼痛・乾燥・腫起・その他）	体表面積<10%	体表面積の10-30%	体表面積>30% 粘膜炎
手足症候群 ○部位（手・足） ○症状（紅斑・水疱・角質増殖・亀裂・その他）	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化 （紅斑、浮腫、角質増殖症）	疼痛を伴う皮膚の変化 （亀裂、水疱など） 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	疼痛を伴う高度な皮膚の変化 （亀裂、水疱など） 身の回りの日常生活動作に制限がある
神経障害 ○感覚がない/にぶい ○手足が動かさにくい	症状がない	中等度の症状 身の回り以外の日常生活動作の制限がある	高度の症状 身の回りの日常生活動作の制限がある
※Grade2以上であれば次回受診時に対応を検討いたします（支持療法の追加など）			
その他特記事項			
		(施設名) (住所) 〒	
		(TEL) (担当薬剤師)	



御清聴ありがとうございます

ご不明点がございましたら、お気軽にご相談下さい。

次回は、分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬についてお話しします。

